

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(小野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
1	<p>中学校の部活動について、①専門外、②大人数を見る、③生徒に任せっぱなしの三つの問題点がある。 地域の人を指導者として、参加しやすい仕組みづくり、また、指導者向けの指導はできないか。</p>	<p>平成23年度から部活動指導支援事業の採用人数を拡大し、学校から申請のあった外部指導者を全て採用するとともに、謝金をお支払するよう制度の変更を行いました。 市内中学校のうち申請のあった24校に対し、平成24年度は45名、平成25年度は49名、平成26年度は52名と人数を拡充し、部活動の指導の充実を図っています。 また、毎年2月末に開催している外部指導者研修会で指導者の意見をお聞きし、各学校のニーズに応じた外部指導者の派遣となるように努めています。さらに指導者の指導力向上に向けて、中学校体育連盟の各種目専門部が合同の強化練習会や情報交換を継続的に開催しています。</p>	教育委員会事務局
2	<p>部活動の遠征費のねん出について、PTAも活動しているが繰越金に食い込んでいる。収益を上げるために学校に自動販売機を置かせてほしい。</p>	<p>ご意見をいただいた後、地元の方や学校関係者と方法を検討した結果、平成24年4月6日に、不審者情報等のメッセージを発信する電光掲示板を備え、災害時には飲料水の無料提供ができる地域貢献型自動販売機を小野中学校(体育館横)に設置することができました。 以来、地域の皆様のご理解もいただき、順調に運用しています。</p>	教育委員会事務局

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(小野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
3	<p>緊急時の連絡体制、防災防犯の体制がうまくいかない。成功事例があれば教えてほしい。</p>	<p>松山市では、災害や気象などの情報を携帯電話やパソコンへ電子メールでお知らせする災害メールサービス「モバイル松山消防」を運用しています。平成26年4月からは、乳幼児や小中学生の保護者、約6万3千人に不審者情報や子育て情報等をメールで配信しているMACネットシステムを活用して、モバイル松山消防の情報を提供しています。</p> <p>また地震などの災害が発生した際、高齢者や障がい者などの災害時要援護者に対する支援には、民生児童委員や町内会、自主防災組織など身近な支援組織の力が重要になります。</p> <p>そこで松山市ではモデル的な取り組みとして、平成25年10月に石井地区まちづくり協議会と協定を締結し、平常時から全ての要援護者情報を支援組織へ提供しています。一部の町内会は、災害時要援護者名簿をもとに、災害発生時に「だれが・だれを・どのように支援するか」を取りまとめ、避難訓練を実施しています。</p> <p>さらに自主防災組織では、災害発生時の連絡体制を確保するために、平常時から緊急連絡網の作成や防災士ヘトランシーバーを配備するなどの取り組みを行っている事例もあります。</p> <p>このほか小野地区には、緊急地震速報や風水害などの気象情報などを伝える緊急連絡手段のひとつとして、防災行政無線の屋外拡声子局を北梅本ポンプ蔵置所、平井ポンプ蔵置所、小野公民館小野谷分館、駄馬分館、太尺寺分館、五楽公園、下葉佐池堤の7箇所のほか、防災行政無線デジタル化に併せて、梅西公園に増設し、合計8箇所に整備しています。また4箇所の避難所に戸別受信機を設置しています。(小野小学校、小野中学校、平井保育園、小野公民館)</p>	<p>教育委員会 事務局 保健福祉部 消防局 総合政策部</p>

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(小野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
4	小野地区のスポーツ施設は学校だけである。学校以外に、自由に使えるスポーツ施設を整備してほしい。	<p>ご意見を受けて、平成23年度に小野小学校で活動するスポーツ少年団が、小野中学校でも活動できないか、協議を重ねた結果、テスト期間中など小野中学校の体育施設が空いている時に利用させていただけることになりました。さらに試合会場や駐車場がなくて困っているスポーツ少年団からの依頼で、松山市が大学等の協力を取り付け、無事開催できたケースもあります。</p> <p>特定の地区の住民を対象としたスポーツ施設の整備は、様々な課題があり、現時点では難しい状況ですが、既存施設を多目的に利用できるよう、中央公園運動広場に天井ネットを設置するなど、機能向上に努めてきました。また北条スポーツセンター東奥の市有地を利用し、坊っちゃん・マドンナスタジアムと同じ両翼99.1m、中堅122mの広さを持ち、硬式野球の練習や練習試合にも対応した野球場2面の整備について、平成28年4月の利用開始をめざし取り組んでいます。</p>	総合政策部
5	MACシステムの情報が遅い。タイムリーな動きができるようにしてほしい。	<p>一般的な不審者情報等については、警察から市民参画まちづくり課を経由して青少年育成市民会議(MACネットシステム)に情報が伝達され、直ちに情報発信を行っています。さらに平成24年4月から一刻を争う事件が発生した場合、警察が直接、青少年育成市民会議にも情報を提供する体制が整備され、今まで情報伝達までに2~3日かかっていたものが、即日対応可能になりました。</p>	教育委員会事務局
6	産業廃棄物や家電4品目等の不法投棄について、市はどのような対策をやっているのか。	<p>不法投棄の未然防止策として、昼夜間のパトロールのほか、監視カメラや不法投棄防止看板・防止ネットの設置等の対策を行っています。</p> <p>またパトロールや住民からの通報により発見されたものについては、一定期間警告シールの貼付により警告を行った後、速やかに回収しており、悪質な事案については、警察と連携して厳格な対応をしています。</p>	環境部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(小野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
7	<p>小野谷公園について、竹林、雑木林で県道196号線からは全く見えない。西側の市道からもほとんど見えないので、視界をよくできないか。一時避難場所になっているが、沈下橋で流量が多いと行けない、避難場所として機能しない。県道から新たに橋をつくれないうか。</p>	<p>公園区域外の竹林や雑木林の伐採等については、土地の所有者や管理者に行ってくださいことが原則ですが、地域の清掃活動として地域の皆さんでできることがないか、ご検討いただけたらと思います。愛媛県が管理している小野川の樹木等については、県の「愛リバー・サポーター制度」を活用することも可能ですので、愛媛県中予地方局管理課(代表941-1111)にご相談いただければと思います。</p> <p>また、橋の整備を含む市道の新設については、あわせて県が管理している両岸の堤防も一体で改修する必要がありますので、費用対効果等から、公園への進入路として事業を実施することは現時点で難しい状況です。</p> <p>災害時の避難については、災害の種別や規模によって、避難する場所は異なります。避難場所によっては、災害により避難することがかえって危険な場合もありますので、その場合は他の安全な避難所を開設し、防災行政無線をはじめ、車両広報やテレビ、ラジオなど、さまざまな手段を使って住民へ緊急情報を伝達することになっています。大雨等により災害の発生に不安を感じる場合は、避難勧告等の発令を待つことなく安全な場所へ避難するほか、頑丈な建物の2階以上に緊急避難するなど、早目の自主避難をお願いします。</p>	都市整備部 総合政策部
8	<p>小野地区にはため池が多くある。池の活性化、池干しなどできないか。</p>	<p>愛媛県がモデル事業として実施していた「ため池環境保全促進事業」は、平成24年度で終了しましたが、県は引き続き『ため池の安全管理と「池干し」について』と題して県政出前講座を開催し、「池干し」の普及を継続して行っています。</p> <p>まずは地元関係者でため池の活性化や池干しについて具体的な内容を検討し、県政出前講座等をご利用いただけたらと考えています。松山市も可能な限り協力していきます。</p> <p>(お問合せ先: 中予地方局農村整備第一課 TEL089-909-8765)</p>	産業経済部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(小野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し)及びその理由	担当部局
9	<p>子どものために本をたくさん読ませたいが、小野地区から図書館が利用しにくくほかの市町の図書館を利用している人もいる。駐車場も広く郊外型で、子どもが寝そべって読める子供が喜ぶ環境ができないか。新しい本を入れるなど、図書館も学校も図書にお金をかけてほしい。</p>	<p>厳しい財政事情等から、施設の建設は難しい状況ですので、平成24年4月から移動図書館車を活用して小野地区大型商業施設への巡回を開始しました。 現在、隔週土曜日の午前10時から11時40分までの間、フジグラン重信第二駐車場で本の貸出・返却等を行っています。利用も順調に増えており、今後も引き続き、大型商業施設への巡回を行っていきたいと考えています。</p> <p>【フジグラン重信の利用状況】 平成24年度 延べ利用者数1,299人 貸出冊数4,977冊 平成25年度 延べ利用者数1,883人 貸出冊数6,971冊 平成26年度 延べ利用者数 527人 貸出冊数2,204冊(7月末現在)</p>	教育委員会 事務局
10	<p>小野地区でも15名の防災士がおり、自主防災組織連合会を立ち上げ頑張っている。 ①防災士の活動に対して、助成金をいただけないか。 ②地域の特性に応じた機材配置をお願いしたい。</p>	<p>自主防災組織の活動は、地域の皆さんの自発的な活動であり、経費も地域で捻出いただいていますので、防災士となった後の活動経費についてもそれぞれの組織で対応をお願いしています。 そうした中でも松山市では、自主防災組織が災害時に実効性の高い防災活動ができるよう、独自の補助制度を設けています。防災士の資格取得については、「個人の資格」ではなく、「地域のために公的な働きをするもの」という考えから、自主防災組織からの推薦を条件に、その取得に要する経費を全額公費で負担することとしています。防災資機材については、今年度も小野地区から自主防災組織・充実活性化事業(活性化モデル事業)のご提案をいただき、地域の特性に応じた資機材の整備に取り組んでいただいています。 また平成25年度には東日本大震災で有効であった資機材として、リヤカー・発電機を災害時に避難所となる小野小学校を含め全59校に配備しました。今年度中には、小野中学校を含め全29校に配備する予定です。 現在の活性化モデル事業については、今後、地元負担金の捻出が難しくなることが想定されますので、来年度以降、補助率を含め総合的に事業内容を見直したいと考えています。</p>	消防局 総合政策部

前回のタウンミーティングでいただいたご意見等への対応状況(小野地区)

	意見内容	現在の対応状況(今後の対応方針、見通し) 及びその理由	担当部局
11	分館について、耐震診断、耐震補強をお願いしたい。	現在、耐震化が必要な公民館本館について計画的に耐震化工事を進めており、分館の耐震補強については、本館の耐震化完了以降に各分館と、地元負担を要することや老朽化による建替えなども含めて協議していきたいと考えています。	教育委員会 事務局